

令和4年度 学校だより 冬休み直前号

糀谷

大田区立糀谷小学校

ホームページ <https://www.ota-school.ed.jp/koujiya-es/>

2学期の終わりに当たって

校長 水浦 茂樹

東京都教育委員会の基本方針の第1に掲げられるのは、「人権尊重の精神」の育成です。このことは、教育の中で第1に掲げられるほど人間性を育む人権尊重が大切なのだということだと考えます。人権とは、誰もが生まれながらにもつ権利であり、自由であります。全ての大人、子どもたちが、人権尊重の理念を正しく理解するとともに、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする精神を育むことが求められます。そのために、本校では、人権教育研究協力校としての教育活動を充実させながら、権利と義務、自由と責任等についての認識を深めさせるようにしています。下には、こうした取組を通して6年生の■■■■さんが人権について考え、書いた作文を載せました。戦争と平和に関わる人権について自分自身に問うた内容ですので、是非、お読み願います。

この冬季休業日期间中、各ご家庭におかれまして、一人一人の子どもが安全・安心があり、平和に過ごせるようにどうぞよろしくお願ひします。よい年をお迎えください。

「戦争」を知ってもらうために

糀谷小学校6年 ■■■■

「戦争」。これは人々が求める平和を妨げる一つであると思う。

最近、ニュースや本を見ると、戦争についての話題が多くなっている。また、戦争で亡くなった人を想う家族も何万人、何十万人といるだろう。それに対して、そのことを知らずに平気で暮らしている人もまた何万人、何十万人といるだろう。僕はそれを思うだけで、心が痛くなる。知らないだけで本当にいいのだろうかと怖くなる。そう思った僕は平気で暮らしているその人たちに少しでも戦争のことを知ってもらいたいと思う。

僕たちはその人たちに知ってもらうには、三つの方法があると思う。

まず一つめは、実際に戦争を体験した人に話を聞くことである。僕の学校ではたくさんの体験者が来てくださって具体的に話をしてくれた。これをきっかけに戦争のことを考える人が多くなったし、僕自身、この意見文を書くきっかけにもなった。やがて僕のように体験者から聞いた人、またその人から聞いて知った人へとどんどん広がっていくだろう。「鉄は熱いうちに打て」。今、戦争が終わり七十五年と少しが経つ。時が経つ度に体験者は少なくなっていく。だから、この言葉の早くしたほうがよいという意味に重みを感じる。

体験者は戦争のことを伝えたいと思っている。少なくとも僕はそうしてほしい。次の世代の僕たちはそれに答えていかなければならないと思う。

二つめは、「自分たちが今生きている」ということを実感してもらうことだ。簡単に言えば、おじいちゃんやおばあちゃんがいたから生きていられることを知ってもらうことだ。おじいちゃん、おばあちゃんのことを知ることは、戦争のことを知るきっかけにもつながる。僕も実際に知ってみたくて、話を聞いてみた。その中には、知らないことがたくさん出てきた。例えば、食料が全く足りなかったこと、国から配給されたものが品種改良された普段では見られないものだったこと、駅で死んでしまいそうな人が座りこんでいたことなどだった。ぜひ皆さんにも聞いてもらいたい僕は思っているし、知らない人たちにも、いずれは思っしてほしい。自分より先に生きていた人たちのおかげで生きているということと、その方々のお話を無駄にせずよく聞いて知ることが大切だと思うのだ。

三つめは、戦争のことを知っている人たちが日本のことだけでなく、世界のことを見ることだ。「戦争と云えば？」と聞かれたとき、日本で起きた東京大空襲のことや広島・長崎の原子爆弾などのことしか考えない人が多いかもしれない。しかし、それはやめた方がよいと思う。アメリカ、イギリス、イタリア、フランス、ロシア、中国、相手国だった国も含めて日本と同じように戦争で亡くなった人がいるのだから。世界中の死者数を合わせると、全く見当もつかない数字になるだろう。「相手の国が悪かった。」というのは、また新たな争いが始まる。人間がその繰り返しをおさえるためにも戦争のことを知っている人たちが世界のことを見て、我慢することも重要だと思う。

日本は今、戦争をしていない安全な国として、世界でも有数のめずらしい国となっている。しかし、今後は分らない。どこかの国が攻めてきたら日本も反発すると思う。いや、するだろう。このような非常事態の時にも若い人たちに戦争のことを知ってもらいたい。若い人たちに戦争のことを知ってもらうのは次の争い時に死者が減ることにつながるだろう。これら三つの方法を努力することによって人々が求めている「平和」になるのではないかと僕は考える。

冬休みの過ごし方について

生活指導部

冬季休業日は、本年を振り返り新たな年に意気込みを新たに作る大事な時期です。心のターニングポイントともいえます。SNSの利用や夜更かし、お金の使い方等で生活の乱れが大きくなりたくないよう、基本的な生活習慣を意識して家庭で生活をするようご指導願います。

<p>不安や悩みがあるときは… ひとりで悩まず、相談しよう</p> <p>大田区立学校用 令和4年12月版</p>		
<p>電話相談 いじめ相談ホットライン</p> <p>いじめ、学級暴力、家庭、兄弟関係、ヤングケアラー等に関する相談</p> <p>24時間対応 0120-53-8288</p> <p>メール相談 東京都 教育相談 検索</p> <p>東京都教育相談センター</p>	<p>相談はっとLINE@東京</p> <p>市内の中学生・高校生向けのSNS相談</p> <p>ニコネームや連絡先を使って相談することもできます。</p> <p>毎日 15:00~23:00 受付は22:30まで</p> <p>東京都教育相談センター</p>	<p>大田区立教育センター</p> <p>子供の性格や行動、学校生活、子育て等に關する相談</p> <p>子ども電話相談 03-5748-1203 教育相談室 03-5748-1201</p> <p>平日 9:00~19:00 土日 9:00~17:00</p> <p>大田区教育委員会</p>
<p>24時間子供SOSダイヤル</p> <p>いじめの被害やその他の子供に關する相談全般</p> <p>24時間対応 フリーダイヤル なやみいおう 0120-0-78310</p> <p>全国統一ダイヤル</p>	<p>こころといのちのほっとライン</p> <p>生きることに悩んでいる人のための相談</p> <p>ほっといのち 0570-087478</p> <p>毎日 12:00~翌朝5:30</p> <p>東京都福祉保健局</p>	<p>話してみなよ 東京都子供ネット</p> <p>いじめ、体罰、虐待等の子供の人格侵害に關する相談</p> <p>フリーダイヤル ほっといのち 0120-874-374</p> <p>平日 9:00~21:00 土日祝日 9:00~17:00</p> <p>東京都児童相談センター (毎年年初を除く)</p>
<p>考えよういじめ・SNS@Tokyo</p> <p>いじめ防止とSNSの適切な利用に役立つウェブサイトをアップ</p> <p>東京都教育相談センター</p>	<p>よいこに電話相談</p> <p>学校、子育て等、子育てに關する相談全般</p> <p>03-3366-4152</p> <p>東京都教育相談センター</p>	<p>ヤング・テレホン・コーナー</p> <p>非行、いじめ、不登校、犯罪被害等に關する相談</p> <p>03-3580-4970</p> <p>東京都教育相談センター</p>
<p>こたエール</p> <p>ネット・スマホのトラブル相談</p> <p>電話相談 0120-1-78302</p> <p>LINE相談 アカウント名「相談はっとLINE@東京」</p> <p>東京都教育委員会</p>	<p>こころの電話相談</p> <p>心の悩みに關する相談</p> <p>東京都立精神保健福祉センター</p>	<p>こころの電話相談</p> <p>子供の行動や心の発達等に關する相談</p> <p>東京都立小児総合医療センター</p>

子どもたちが深刻な悩みを抱え込んでしまう場合は、サインを見逃さず、ご相談ください。

対応においては、相談機関窓口一覧をご活用いただきますようお願いいたします。

※こちらのリーフレットは、学校ホームページに掲載しています。「保護者向けリーフレット『どうしたの?』」一声かけてみませんか」もご確認をお願いします。

学年の窓

3年生

3年生は4月から総合的な学習「だいずだいすきだいさくせん!」という単元に取り組んでいます。この単元は、普段何気なく食べている大豆について深く考える学習です。4月に学習が始まったときは、大豆という存在についても知らなかった3年生。「大豆って何?」「大豆は知っているけど、食べたことないよ。」などの声が多く聞かれました。大豆を調べることから始まり、自分で大豆を育てる経験もしました。悪天候もあり、多くの児童の大豆が枯れてしまいましたが、「大豆を育てるのは難しいな。」「大豆に水をあげすぎではいけないんだ。」「こんなに育てるの大変なのに、農家さんはすごいな。」など失敗から多くのことを学ぶことができました。

2学期には、大豆が何に变化するのかを調べました。調べ学習に取り組む中で、「大豆ってみそになるの!?みそ作ってみたいな。」「大豆はぼくの好きなきな粉にもなるんだ!」など普段の食事の中に大豆が存在することに気付くとともに、大豆に対して興味関心を高めました。そんな中、保護者の方の協力もあり、児童がやってみたいという味噌づくり体験を行うことができ、大豆への興味関心だけでなく、食に関わっている方々への感謝の気持ちをもつこともできました。

3学期には、今まで学習したことをまとめ、「ものづくり教育・学習フォーラム」に展示する予定です。ぜひご期待ください。

体育・健康教育授業地区公開講座の報告

体育部

12月10日(土)に、体育・健康教育授業地区公開講座がありました。講師には、国立病院機構久里浜医療センターの主任心理療法士の三原聡子先生をお招きし、ご講演いただきました。講演の内容は、「ゲーム依存症とその傾向について」でした。三原聡子先生からは、ネット依存症に発生してくる問題や様々な予防策などをお聞きしました。また、子どもとのコミュニケーションの方法や子どもが実行できるルールを作ること、ルールを見えるところに掲示することなど具体的な方法を教えていただきました。当日は、たくさんの保護者の方に参加していただきました。ありがとうございました。

